

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市社会教育委嘱状交付式、組織会及び第1回弘前市社会教育委員会議
開 催 年 月 日	令和2年8月6日(木)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時30分から 午後3時30分まで
開 催 場 所	岩木文化センター
議 長 等 の 氏 名	委員長 生島 美和
出 席 者	生島 美和 委員長 佐藤 義光 副委員長 小山内 剛 委員 古川 和生 委員 成田 むつ子 委員 小川 亜生 委員 川越 俊昭 委員 松本 大 委員 山形 勝彦 委員 齋藤 由紀子 委員
欠 席 者	
事 務 局 職 員 の 名 氏	生涯学習課長 柳田 尚美 生涯学習課参事兼中央公民館長 太田 泰輔 博物館長兼高岡の森弘前藩歴史館長 成田 正彦 生涯学習課課長補佐 熊谷 克仁 図書館・郷土文学館運営推進室長 庄司 輝昭 中央公民館岩木館長 高森 紀之 中央公民館相馬館長 松本 守弘 生涯学習課企画係長 藤田 真徳 生涯学習課企画係主事 小笠原 溪
会 議 の 議 題	「弘前の社会教育と新型コロナウイルスの影響」

<p>会 議 結 果</p>	<p>・「会議の議題」に基づき説明し、各委員からの質問や意見を伺った。</p>
<p>会 議 資 料 の 名 称</p>	<p>・会議次第  <b>【事前配布資料】</b>  資料1 弘前市社会教育委員の役割等について  資料2 弘前市社会教育委員名簿  資料3 弘前市社会教育委員設置条例  資料4 弘前市社会教育委員の会議運営規則  資料5 中南地方社会教育委員連絡協議会会則  資料6 青森県社会教育委員連絡協議会会則  資料7 弘前の社会教育  <b>【当日配布資料】</b>  資料1 中南地方社会教育委員連絡協議会  令和2年度事業計画  資料2 青森県社会教育委員連絡協議会  令和2年度事業計画  資料3 一般社団法人全国社会教育委員連合の概要  資料4 令和2年度第1回公民館関係職員研修会について</p>
<p>会 議 内 容</p> <p>( 発 言 者 、  発 言 内 容 、  審 議 経 過 、  結 論 等 )</p>	<p>○弘前市社会教育委員委嘱状交付式  ○組織会（委員長・副委員長選出）  委員長 生島 美和  副委員長 佐藤 義光  委員長挨拶  ○第1回社会教育委員会議  1. 定足数確認  2. 会議録署名者指名  3. 会議  4. その他  ~~~~~  <b>会議</b>  <b>(議長)</b>  それでは、令和2年度第1回弘前市社会教育委員会議を開会します。まず、次第4の(1)定足数確認をいたします。「弘前市社会教育委員会会議運営規則の第4条」により会議は、在任委員の半数以上が出席しなければ開くことができない、となっております。</p>

本日の出席は10名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しています。

続いて、次第4の(2)の会議録署名委員の指名に移ります。署名委員は佐藤委員と松本委員といたします。よろしくお願ひします。

~~~~~

案件 「弘前の社会教育と新型コロナウイルスの影響」

**(議長)**

「今回の案件は、「弘前の社会教育と新型コロナウイルスの影響」についてとなっております。事務局より説明願ひします。

(事務局から各課、館の「令和2年社会教育事業」の事業概要とコロナ対策について説明)

**(議長)**

今、お話いただきました点、通常ですとそれぞれの社会教育の範疇というか、弘前市でどこが議論の対象になっているのかというところを、それぞれの立場でお示しいただきながら、だいたいお分りいただいたと思います。これからご意見いただくのですが、今回につきましてはさらにコロナ対策ということで、その辺りもさまざまご意見いただければと思います。ここからは委員の皆さんからご質問、ご意見を伺いたいと思います。忌憚のないご意見をお願いします。

時間も30分ほどです。ご質問、ご意見お願いします。

**(佐藤委員)**

5頁「子ども観劇教室」は市内の小学生が該当するわけですが、おそらく開催はこれからだと思います。コロナとの関係で実施はどういうような計画で、こういう状況では中止もありうるのかというのを聞かせていただきたいのと、私も何回か拝見させていただきまして非常に良い行事だなと思っています。鑑賞前、あるいは鑑賞後各小学校で指導、活用を実施した例はありますか？

**(生涯学習課参事)**

「子ども観劇・演劇ワークショップ」ですが、今年度につきましては、11月の下旬に市民会館で行う予定にしております。例年ですと3年生、4年生対象という事でやっていましたが、市民会館のソーシャルディスタンスをとっての定員削減という関係もありまして、370人ちょっとしか今現在入れられないという事もあって、さまざま考慮した結果、今年は3年生だけに見せようという事になっております。バスでおいでになって市民会館に随時入場させて、間隔をとって観るという事で進めております。今現在弘前の方でも何もコロナの発症者もないので、このままいけばやるという事で考えております。

学校側の観た後の活用の部分ですが、そちらについては今現在私共で情報をもっておりません。

学校の方から国語教育研究会の先生方に選定等をお願いしております。そちらのほうからはいい事業なので、是非貴重な体験の場なので、これからも続けていって欲しいと言われておりますので、学校のほうでも有効な事業ということで認識しているものと考えております。

**(議長)**

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか？

**(小山内委員)**

「子ども観劇教室」の今現在の取り組みとしては、3、4年生でここ数年きていました、数年前からあそべーるでやっていたのですが、ここだと3日間の予定が、市民会館だと2日間しか利用できない。市民会館は人数が入れるだろうと思いますが、1,000人規模が380人～400人位しか入れないということで、とても期日が取れないということで3年生のみという寂しさがあります。活用のほうですが、子ども達に聞いても、先生方にとっても3、4年生2学年がとても楽しみにしている大きな行事です。観劇教室はとてもいい行事でそれを観てきた子供たちが喜んでいいるのがありますので、是非継続したいと思いますが、今年度以降も3年生に固定されてしまうのも、どうかなという寂しさがあります。

学校に戻ってきて何かやっているかと、特別感想を書かせたりはしていないのですが、帰ってきてから感想を聞いたりします。4年生の担任の先生から4年生がないのがとても寂しいという声がありました。

**(生涯学習課参事)**

4年生にも本当は観せたかったのですが、人数の関係でどちらかとなると、4年生は昨年度も観たということで、コロナの影響下においては1学年となると3年生となり、そこはご了承いただきたいと思います。

今後、状況が好転すれば昔のような多い学年に持っていけるかもしれませんが、今現在はそこまでいけないし、確約もできませんので今年3年生に観せるというところに注力したいと思っております。

**(議長)**

ほかはいかがでしょう？

**(山形委員)**

質問なのですが、今は移動図書館はやっているのですか？

**(図書館・郷土文学館運営推進室長)**

移動図書館「はとぶえ号」は2週間のサイクルでステーションを回っております。

**(山形委員)**

それならよかったです。障害者に関しては図書の貸出を支援してい

るようですが、例えば図書館に行けば検索できるのですが、外部から検索できるのですか？

**(図書館・郷土文学館運営推進室長)**

外部からの図書のインターネット上で検索することができます。

**(山形委員)**

そこで、貸出とかの予約とかはできるのですか？

**(図書館・郷土文学館運営推進室長)**

インターネット上での予約もできます。

**(山形委員)**

ありがとうございました。今、コロナ時期なのでそういう事も分かれれば、利用があらかじめ予約しておけば、検索しなくてもという事もあるので。

**(議長)**

非常に図書館の事はステイホーム中に図書館を使って本を読みたいという事はあったと思いますので、どうなっているのかというのが私達も関心があった所だと思います。

**(成田委員)**

今、お話を聞いて予防策を取りながら、できることをできるところからおやりになっている姿勢というのはとても大事だと思います。ただ、弘前市は誰も感染者が出ていない状況ですが、日々誰か出たらどうなるのだろう、そのあたりは市全体で決まってらっしゃるものなのですか。

**(生涯学習課長)**

市の本部会議の中での話なのですが、市内どこでも1人出たらどうするか、ということまでは決まっておられません。決めているのは市の施設の中で、出た場合にはどうするかという事ですが、1人出たらその部署は閉鎖して消毒液で拭くとか、そういう事をした後にまた開館するという事になっております。一律の対応方法は決まっています。

**(議長)**

今回の会議でお聞きしたいと思っていたのが、例えば事業もそうですし、公民館等も休館および開館をどの段階でどういう風にするかというような指針であるとか、館そのものの事業だけでなく、貸館、市民の人たちの学習環境を守るという意味で貸館事業も行われていますがこの貸館についてはどうなのか、さらに貸すという場合、コロナ禍でどういうルールのもとに貸すのか、この辺りが明示されて共有されていく事で、みんなで防ぎながら、みんなの学習を守れるという事に繋がってくると思いますが、この辺りがどのように対策をとられているか、という事かなと。

成田さんのお話を伺いながら、改めてお聞きしたいところなのです

が、またそれが整っていないようであれば今、2波、3波が来ますので、どのような見通しなのかという辺りをお知らせいただければと思います。

**(生涯学習課長)**

今まで当市の施設も4月20日から5月18日までは一斉に休館という事をしたのですが、この休館につきましては、市のコロナウイルス感染症対策本部によって決定されました。休館にいたる前も、どのような基準があったかという、明確にあったのは、3つの密の環境を生じさせない、手指の消毒、マスクの着用、それらを守って実施していただく。貸館の上では貸出をしている事業をやっている間はその事を守っていただき、さまざまな注意を払っていただいたうえで、実施いただいているという事です。

**(議長)**

現状今、そういうことだという事で、お話しいただいたと思います。例えばチェックリストが必要だとか、先ほど博物館の方でありましたけれども、利用者の方に名前をどこまで書いてもらうのか、その後の追跡ができるのかとか、部屋を貸した後とその次の団体に貸すまでの間の消毒とか、そういうような、かなりみんなが使っているからこそ注意していかなければいけない事もあると思いますので、注意していることを明示していく、市民の人たちに見せていきそれを理解してもらいながらみんなで使う、これも公共施設を使う上で一つの社会教育になると思いますので、その辺を少しご配慮いただければいいのかなと思います。これからの動きになると思いますが、是非ご配慮いただければと思います。

**(生涯学習課長)**

お話頂いたとおり、使用前、使用後の消毒はやっているのですが、そういう事を明示するという事はしてこなかったかもしれないので、注意してまいりたいと思います。

**(議長)**

他はいかがでしょう。

**(齋藤委員)**

図書館の話になるのですが、休校中、高校生と小学生の子どもがずっと家におりまして、学校が休みの間、図書館の本が頼りでした。最初、子どもは入れなくて大人が借りてすぐに帰るという事だったので、その後休館になってどう過ごすのかかなり大変でした。本を買ったりもしましたが、限度もありますし、これから第2波、第3波が来た時に、できれば休館だけは希望としては避けていただきたいなと思います。1人5分でもいいので、さっと借りて、さっと帰れる対応をしていただければ、ゲームを持っている子はゲームばかりになってしまいま

すし、こういう時にこそ本を読む機会なのかなと思いますの、だいぶ子どもも本を読みまして、色々な事に興味を持ちましたのでそれが希望です。

あと、開館当初からヒロロの図書館を使っているせいか、弘前図書館に行きますと子どもの本が古くて新しいものが少ないのかなという気もしますので、どんどん新しい本を子どもの為に入れていただければいいなと思います。

学校の図書館の管轄がどちらか分かりませんが、学校の本もだいぶ古くて、切れている物も、直してもボロボロと取れてくるものもありまして、夏休中1冊本を借りてくるのですが、その本がバラバラと取れてきておりまして、学校の本はたくさん子ども達が休み時間に読んでいますので、私も図書館ボランティアをしております、多い子は1年間で何百冊と読んでいて、その中で身近な図書館としては学校だと思いますが、その図書館の本が古くなれば新しい本に変えることができればいいなという希望で意見させていただきました。

**(議長)**

学校図書館そのものというか、図書館支援というのは市立の図書館でもやっていますが、図書館のほうからコメントいただければと思います。

**(図書館・郷土文学館運営推進室長)**

実際に、4月、5月の休館中、子ども達が本を読めない状態、私達図書館スタッフも本当にかわいそうだなと思っておりました。

実際第2波の時にどういう対応になるかというのが、今からは想像ができないのですが、利用の方法を色々工夫しましても、不特定多数の方が多くいらっしゃる例えば4月、5月休館の前後を見ましても、利用者の方はガクンと落ちたのですが、貸出冊数はほとんど変わらない状況で、利用者の皆さん多めに借りて、自宅で読書いただいたのかなと思っております。

子どもの本の世代交代ですけれども、私共も指定管理者と特に絵本は子ども達たくさん借りていく事もありまして、新しい本を入れてもみなさん新しい本から借りていく、書架に出ているのが古いのが残ってしまう。順次回転しているというふうにご理解いただきたいと思います。

学校図書館としては確かに古い本があるのは、学校の方の事情がありますので、指定管理になってからも指定管理の司書が学校図書館の整備とかレイアウト変更とかこういったものに対して助言や一緒に作業をするといった事で子ども達に読書環境が少しでもよくなるように現在も努力をしています。

**(議長)**

ありがとうございました。もう少しいかがでしょうか。

**(山形委員)**

弘前の場合は小・中学校生が家で学習を受けられる状態なのでしょうか？

**(小山内委員)**

ないです。ただ、今、国で「GIGAスクール」構想を持っていて、1人1台のコンピュータの設置を今、動いていて、弘前市もそれに向けて動いています。今年度中には子ども達が1人1台ずつ使える状態になるのですが、持ち帰っていいとかが問題。授業で使うために1人1台という程度であって、1人1台持って自由に使えるという事ではないと思います。保護者に見れば子どもが3人居れば3台用意しなければならないとなれば、簡単に買えるものなのか、かなり難しい。学校にも他市町村でオンデマンドの授業をやった学校があるのですが、こちらではこの環境が学校で整っていないのでできません。

**(山形委員)**

昔の文学等が無料で見放題、今は情報をうまく使う時代で、図書の事も行かなくてもネットで買えば安く本も買える。そういうのをうまく利用すると家でも有益な活動ができるのではないかと。

そういう事もあるのだというのを教えていく事も我々の使命ではないかと思います。

**(議長)**

こんな学習が家でできるよという事を、子供たちだけの問題でなく実は大人ほど情報をとれなかったり、さらに子供以上に高度な事がやりようによってはできたりするので、私もこの間、弘前の公民館はどうするのかと思っていたのですが、公民館が休館だから、事業をやっていないからといって、公民館はなくなったわけではなく、学習情報機会の提供という意味でどんな発信ができるか、というのを動くかなと思っていましたが、なかなか見えないところではありました。

こんな時だからどんな事ができるというのを発信することで、さすが公民館、こんなところでプレゼンスを出してくるのかという事があってもよかったのではないかと。オンライン公民館、オンラインで体操をやりましょうとかそこで地域で繋がっていきましょうとか、大人ほど案外そういう機器を持っていたりしますので、使っていたりもしますので、そういう発信の仕方を模索してどんどん色々な地域でしています、是非弘前もそういう事をやっていてもらいたいと思っています。先日、日本公民館学会というのがあって、全国でどういった公民館の動きだったのかというのがありましたが、こんな時だからより公民館がやらなければならない事が見えてきた。つまり、



「集う」、「学ぶ」、「結ぶ」というのは公民館という建物だけでなく、地域の中を結んでいくのであって、そこから学習を繋ぐためにはどうしたらいいか、本当に公民館が地域の人たちの為にできること何かという事が考える時期だったという話がありました。

その時にあったのが、「他の公民館といかに繋がるか」という事を情報共有する事も話題になっています。子どもだけでなく大人の学習の情報提供というのも是非社会教育行政の方から、公民館、図書館の方から発信していただけるよう、少し体制を作っていただければいいなという風に思っています。

#### **(佐藤委員)**

2点程意見を。まず1点は学校が休校になりました、その際1番変わって欲しかったのは、皆さんからも意見がありました、公共施設かなと思います。

参考になればと思ひまして、孫がスイミングスクールに通っています。全国的にコロナが流行し始めた時に非常に不安になり、やるのかなと、小学校、中学校が休校になっている時にスイミングスクールは休むのではないかなと思ひました。そしたら、先ほどから皆さんからも出ていましたが、明確に玄関に「感染者が出た場合」「関連の人が出た場合」にはスイミングスクールは休校にします、それまではこういうふうな対策、具体的に何をするかそして併せて熱がある生徒は来ないようにしてくださいというように、入口に明確に表示しました。それで私達、送迎する側も安心ができました。そういう意味では社会教育に関わる施設たくさんございます。これからでも、先ほどから皆さんからも意見が出ておりますが、こういうケースの場合は即、閉館するという明確にすることで、こういうふうに対策をうっているのだと、ここに来ても安全だなという安心感を持つのではないかなという気がいたしました。

2点目は図書館に関わる事です。新しい本が少ないなとか、今、傾向にある本がないなという時がございませう。ただ、弘前市でいいなと思うのはリクエストというのがありまして、そのリクエストで関連する県内、県外の図書館に問いかけて取り寄せてくれる、それでも対応できない場合は3,000円以下であれば図書館で検討して新たに購入する。

それから、インターネットに登録すれば、予約、延期も可能です。図書館のホームページの入り口が少し分かりづらく、探しにくい。そこが課題かなと思います。

#### **(議長)**

施設をどう使えるのか、安全に使えるのか、安心とはどこまでをいうのか分からない状態なので、パーフェクトというのはなかなかないと思いますが、こういう準備をしているよという事と、それを見せていくという事、いかに情報が取れるようになるかというところが、今、課題

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | <p>として少し出てきているのではないかと、思いますので、その辺ご配慮いただければと思います。</p> <p>また、是非ご検討をいただきたいのですが、先ほど社会教育委員の役割の中で社会教育関係団体に対する補助金の意見を毎回言う事になっているのですが、毎回お願いしているのは社会教育関係団体として交付する団体がいつも一緒なのですが、いつ募集がされていて、何でこの団体にはその情報がいつあるのか、他に欲しいところはなかったのかとか、既得権益のように補助金が交付されているような実態がありますので、昔であればそれでよかったのかもしれないですけども、今、助成金、補助金は活動していく上で必要であり、みんなで獲得するために苦勞していくところでもあるし、また、そうすることを経てこれは公金なんだという事で責任をもって使うという意識づけにもなっていくと思うのですが、その辺の募集の過程が非常に曖昧で、募集の仕方なり決め方を是非ご検討を頂いて、場合によっては少し議論する機会というのがあってもいいのではないかと。是非お願いしたいと思います。本日の議事はこれで終わります。</p> <p><b>(生涯学習課課長補佐)</b></p> <p>それでは、(4) その他について皆さまの方から何かございませんでしょうか。ないようなので、これをもちまして令和2年度第1回弘前市社会教育委員会議事を閉会いたします。</p> |
| <p>その他必要事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議は公開</li> <li>・ 傍聴者なし</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |